

## 中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2025/2/17

~

2025/2/23

発令中の 警報／ 注意報	県全体	〈警報〉 なし	〈注意報〉 なし
	各保健所	<b>警報</b> 中部保健所：インフルエンザ 南部保健所：インフルエンザ 那覇市保健所：急性出血性結膜炎 八重山保健所：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎	<b>注意報</b> 中部保健所：なし 南部保健所：水痘

## 『インフルエンザ』に気を付けましょう【警報発令中】

○インフルエンザ  
の感染予防策

手洗い

予防  
接種咳  
エチケット

喚起

マスクの  
着用

## ○体調不良時には

① かかりつけ医にまず相談し、事前予約の上受診しましょう（救急医療をつぶさない）。

検査・受診のご相談は #7119 へ。

② 「マスク」を着用し、咳やくしゃみをする時は「咳エチケット」を守りましょう。

③ 重症化リスクのある方と会う際は、特に体調に応じた感染対策をしましょう。

## 『百日咳』過去最多を大きく上回るペースで増加しています！

百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要ですので、**生後2か月**になった乳児は速やかに**五種（四種）混合ワクチン**の接種を開始しましょう。乳幼児でまだ予防接種を受けていない場合は早めに接種をしてください。また、児童、生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、**咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。**

○感染経路：咳等による飛沫感染、接触感染

○潜伏期間：7～10日間

## ○症状

- ・普通のかぜ症状で始まり、約2週間のうちに次第に咳の回数が増えて程度も激しくなる。
- ・次第に特徴ある発作性けいれん性の咳となり、短い咳が連続的に起こり(スタッカート)、息を吸う時に笛のようなヒューという音がでる(ウープ)。咳は2～3週間続き、発熱はないか、あっても微熱程度。
- ・激しい発作は次第に減少し、全経過約2～3か月で回復。

## ○予防

- ・**五種（四種）混合ワクチンの接種**(定期接種対象⇒生後2～90か月、計4回接種)
- ・**マスク着用等の咳エチケット**の実施

\*詳しくは[こちら](#)をご覧ください

■ 感染症の発生動向 1類～5類（全数把握）

		県全体	うち中部
1類	なし		
2類	結核	6	1
3類	なし		
4類	なし		
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1
	梅毒	3	2
	百日咳	32	8

■ 感染症の定点当たり報告数

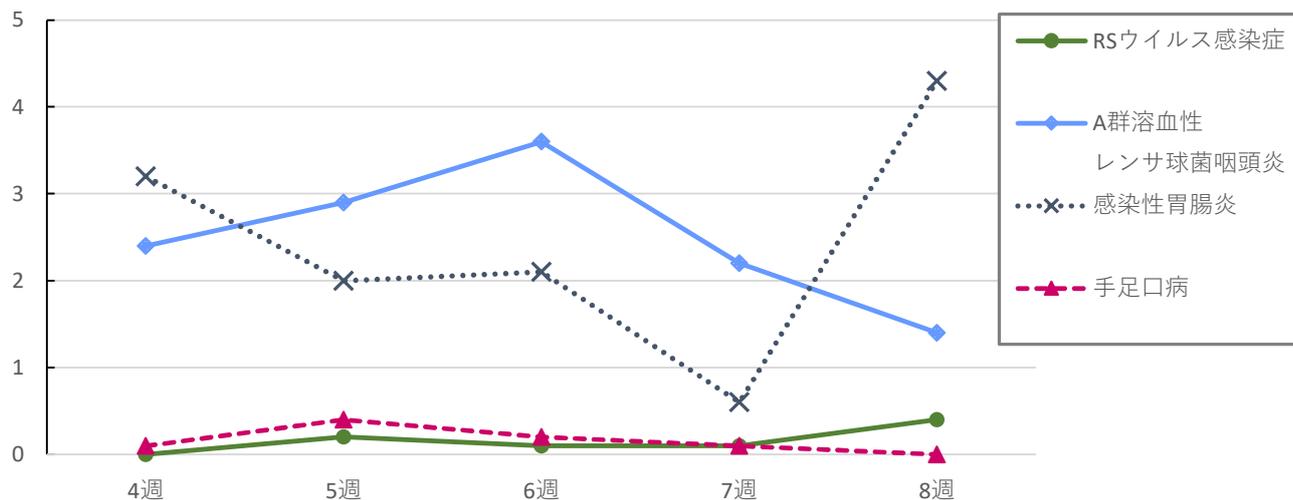
※直近5週間で報告された感染症のみ

	4週		5週		6週		7週		8週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	<b>22.11</b>	18.77	<b>14.61</b>	13.32	<b>15.94</b>	11.46	<b>14</b>	11.55	<b>12.44</b>	8.66
RSウイルス感染症	<b>0</b>	0.16	<b>0.2</b>	0.16	<b>0.1</b>	0.19	<b>0.1</b>	0.16	<b>0.4</b>	0.16
咽頭結膜熱	<b>0.1</b>	0.19	<b>0.2</b>	0.22	<b>0.2</b>	0.13	<b>0.1</b>	0.22	<b>0.1</b>	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<b>2.4</b>	2.38	<b>2.9</b>	2.41	<b>3.6</b>	2.84	<b>2.2</b>	2.44	<b>1.4</b>	2.19
感染性胃腸炎	<b>3.2</b>	3.5	<b>2</b>	2.25	<b>2.1</b>	3.03	<b>0.6</b>	3.09	<b>4.3</b>	4.38
水痘	<b>1.4</b>	0.63	<b>0.6</b>	0.34	<b>0.7</b>	0.53	<b>1.0</b>	0.91	<b>0.8</b>	0.81
手足口病	<b>0.1</b>	0.19	<b>0.4</b>	0.13	<b>0.2</b>	0.13	<b>0.1</b>	0.06	<b>0</b>	0.03
伝染性紅斑	<b>0.4</b>	0.5	<b>0.8</b>	0.38	<b>0.3</b>	0.34	<b>0</b>	0.25	<b>0.1</b>	0.34
突発性発疹	<b>0.1</b>	0.09	<b>0.1</b>	0.19	<b>0.5</b>	0.28	<b>0.1</b>	0.25	<b>0</b>	0.13
ヘルパンギーナ	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0.03	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0.03
流行性耳下腺炎	<b>0.1</b>	0.06	<b>0.2</b>	0.13	<b>0.1</b>	0.06	<b>0.1</b>	0.06	<b>0</b>	0
急性出血性結膜炎	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0.11	<b>0</b>	0.22	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0.11
流行性角結膜炎	<b>0</b>	1.44	<b>0</b>	3.89	<b>0</b>	4.56	<b>0.5</b>	5.11	<b>1.0</b>	6.89
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	<b>0</b>	0.14	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0.14
無菌性髄膜炎	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0	<b>0.5</b>	0.14	<b>0</b>	0	<b>0.5</b>	0.29
マイコプラズマ肺炎	<b>0</b>	0.29	<b>0</b>	0.29	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0.29	<b>0</b>	0.14
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0.14	<b>0</b>	0.14	<b>0</b>	0
COVID-19	<b>1.33</b>	1.3	<b>1.0</b>	1.02	<b>1.11</b>	1.02	<b>1.61</b>	1.57	<b>1.0</b>	1.36

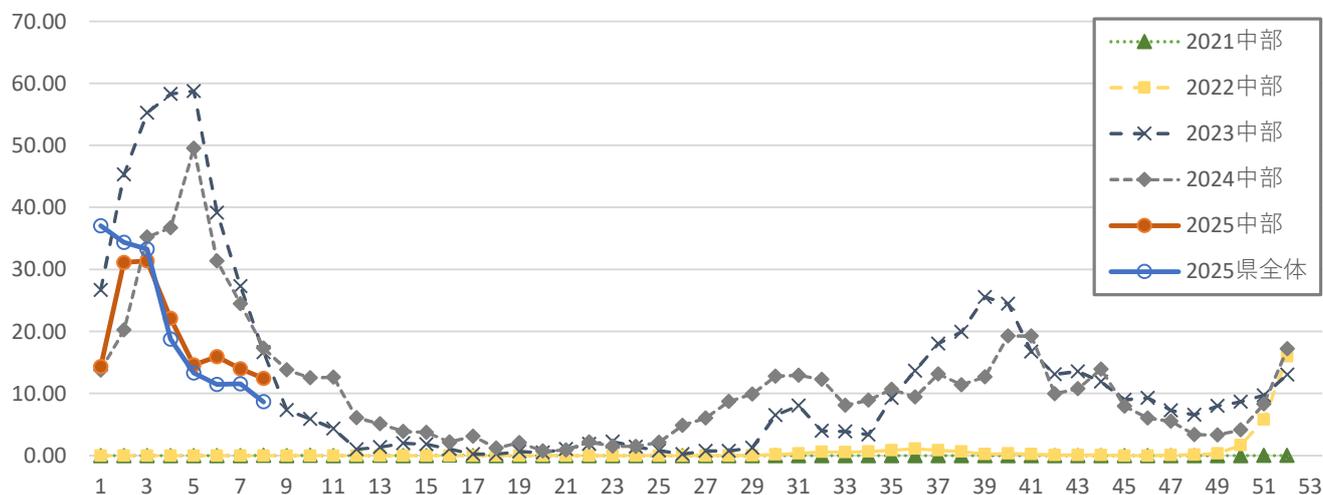
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

